

実務の状況に関する申立書

受験番号

※

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（教職大学院）

フリガナ 氏 名		志望する プログラム・ サブプログラム	プログラム サブプログラム
生 年 月 日	昭・平 年 月 日生		

<個別の実務の状況について>

1. 評価基準 A：十分当てはまる B：当てはまる C：やや不十分 D：不十分
2. すべての「実務領域と内容」について自己評価してください。
3. 評価はABCDのいずれかを○で囲ってください。

実 務 領 域 と 内 容	評 価
1. 教育課程の編成及び実施	
・自らの授業等において、週ごとの教育計画等を作成し、それに基づいて授業等を行っている	A B C D
・自らの授業等において、時数や進度などの管理に努めている	A B C D
・授業等の計画において、学年や教科担当などと連携しながら進めている	A B C D
・学校園の教育目標や育てたい子ども像を念頭において自らの教育計画を立てている	A B C D
・教科等の年間指導計画や全体計画などの作成に関与している	A B C D
・分掌上の教務に係る職務において指導的な役割を果たしている	A B C D
・学習指導要領等の趣旨や学校・教育委員会の教育課題を踏まえた教育課程の実施に努めている	A B C D
・地域や学校園の実態に応じた特色ある教育活動の創造に努めている	A B C D
2 教科等の実践的な指導方法	
・授業等を行う際、教材研究や幼児児童生徒理解に努めている	A B C D
・授業等を行う際、指導方法や指導技術の工夫や改善に努めている	A B C D
・道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間など教科以外の指導にも力を尽くしている	A B C D
・指導に対する評価を適切に行っている	A B C D
・少人数、習熟度別、TT等の様々な形態の授業実践の経験がある	A B C D
・学校園や地区研究会で、研究授業を進んで行っている	A B C D
・学習指導案の作成、年間指導計画の作成などについての若手教員への指導に努めている	A B C D
・教科等に係る研修会等に参加している	A B C D

（裏面につづく）

3 幼児児童生徒指導及び教育相談	
・ 日頃から幼児児童生徒理解に基づく子どもの対応を行っている	A B C D
・ 日頃から幼児児童生徒の進路指導（キャリア教育）の充実に努めている	A B C D
・ 幼児児童生徒の問題行動等に係る対応の実績がある	A B C D
・ クラブ活動，部活動，地域活動・ボランティアなどに努めている	A B C D
・ 幼児児童生徒理解や生活指導・進路指導に係る研修会等に参加している	A B C D
・ 分掌上で生活指導や進路指導に係る職務の実績がある	A B C D
・ 健全育成に係る地域の取組み等に参加している	A B C D
・ 生活指導や進路指導，教育相談等について，若手教員への指導に努めている	A B C D
4 学級経営及び学校園経営	
・ 朝の会，ホームルーム，給食指導，清掃指導などを工夫して行っている	A B C D
・ 家庭や保護者との連携を綿密に行っている	A B C D
・ 学級経営や家庭との連携などについて，若手教員への指導に努めている	A B C D
・ 学校園経営方針を視野に入れて教育活動や指導事務を行っている	A B C D
・ 分掌上の部会や委員会等において指導的な役割を果たしている	A B C D
・ OJT を理解し，学校園内における人材育成に努めている	A B C D
・ 学校園運営改善のための評価（学校評価委員会，学校運営連絡協議会等）に関わっている	A B C D
5 学校教育と教員の在り方	
・ 教育者としてのコンプライアンスを携えて教育活動や指導事務を進めている	A B C D
・ 組織の一員としての自覚をもって教育活動や教育事務にあたっている	A B C D
・ 教育者としての誇りや生きがいをもって教育にあたっている	A B C D
・ 様々な研修会等に参加するなど，絶えず自己研鑽に努めている	A B C D
・ 子どもや保護者，地域の方から信頼されている	A B C D
・ 同僚や上司から信頼され，指導的役割を果たすことが期待されている	A B C D
・ 自他のストレスマネジメントに配慮して職務にあたっている	A B C D
・ 若手教員や指導力に課題のある教員に対しても労を惜しまずに指導にあたっている	A B C D

以上のとおり申し立てます。

令和 年 月 日

所属

氏名

（自署すること）

【両面で印刷すること】